



## 呼吸器外科医療録①

### 呼吸器外科って何する科?



令和8年4月からの1年間「呼吸器外科」をテーマにした記事を毎月寄稿します。

早速ですが、呼吸器外科って何する科かわかりますか？外科といえば、一般的におなかの臓器を手術する科ですが、呼吸器外科は、簡単にいうと胸の中で心臓以外の臓器を手術する科になります。

主に扱うのは、肺の病気（肺がん、気胸：肺に穴があく病気、肺の感染症の一部）、縦隔（胸の真ん中）の病気（縦隔腫瘍）、胸壁の病気（肋骨などの胸壁の腫瘍や外傷、

横隔膜の病気）、胸腔の病気（胸水：胸腔に水や膿などがたまる病気、胸膜の腫瘍）です。

肺や胸にできた腫瘍を切除したり、抗菌薬のみで治らない感染症を取り除いたり洗ったりして治しています。昔の開胸手術は、肋骨を折って胸を大きく切り開いていましたが、現在は胸腔鏡やロボット手術により、小さな傷で痛みも少なく、回復の早い手術が主流になっています。

## けんこうQ&A 在宅医療①

### 在宅医療って？



在宅医療とは、病院や診療所に通うことが難しくなった方が、住み慣れた自宅や施設で医療を受けられる仕組みです。

医師や看護師が定期的に訪問し、診察、薬の調整、点滴や在宅酸素などの治療を行います。高齢者だけでなく、慢性疾患を抱える方、障がいのある方、退院後の療養が必要な方、自宅で最期を迎えたい方なども対象となります。

在宅医療の大きな特徴は「生活の場」で医療を行う点にあります。通院の負担が減り、家族と過ごす時間を

大切にしながら治療を続けることができます。

また、介護サービスや訪問看護と連携することで、医療と生活を切れ目なく支えることが可能です。

これからの時代、在宅医療は地域で安心して暮らし続けるための重要な選択肢の一つです。

